

11/11 (月) 中学生に人生をかけたメッセージ伝える プロアーティスト銀 MAROさん 作品寄贈



茨城県出身で、プロアーティストとして活躍する銀 MAROさんが制作した漆喰アートが明光中学校に寄贈され、贈呈式が開催されました。

銀MAROさんは、制作した漆喰アートを県内の学校等に寄贈する「大切なものは土の中プロジェクト」に取り組んでおり、誰にも見えない『努力の球根』が『成功の種』を飛ばすというイメージを作品に込め、未来ある子どもたちに伝える活動をしています。

贈呈式では、銀MAROさんから生徒に向けて「人生において大切なものとは何かを考え、それに気づき、大切にしてほしい。」「自分との約束事を守り、成功のために決意して頑張してほしい。」とエールが送られました。

11/21 (木) 茨城町穀物改良協会 米消費拡大運動 学校給食に町内産新米を提供



葵小学校での給食の様子

「茨城を食べようWeek」の町内学校給食の献立に、茨城町穀物改良協会から提供された町内産コシヒカリの新米を使ったご飯が登場しました。

茨城町穀物改良協会は、町内の米集荷業者と米生産農家で構成されており、米消費拡大運動として町内産米のPR活動を行っています。今回も学校給食に町内産の新米を提供することで、地元の農産物を積極的に利用する地産地消に興味を持ってもらえるようにと企画しています。

ご飯を食べた児童は、「お米の粒が大きくて甘い、おかわりしたい。」と笑顔いっぱいでした。

11/8 (金) 茨城県猟友会東部支部 ヤマドリの放鳥を実施



茨城県猟友会の主催する放鳥事業が県内各地で実施され、国指定鳥獣保護区である涸沼周辺においてヤマドリ6羽（オス2羽、メス4羽）が放鳥されました。

本事業はヤマドリの個体数の維持を図るため、鳥獣保護に基づく事業の一環として行われています。町内では茨城県猟友会東部支部（根崎敏夫支部長）によって放鳥が行われ、今回は涸沼自然公園周辺で6羽全てが力強く羽ばたきました。



11/18 (月) 移動スーパーで暮らしを便利に 株式会社カスミ 移動販売車運行開始



（株）カスミの移動スーパーが町内を運行開始するにあたり、出発式が執り行われました。

移動スーパーは、生鮮食品からお惣菜まで約650品目の商品を積み込み、町内各エリアの公民館や施設などを週一回ずつ訪問します。

出発式において、（株）カスミの伊神里美執行役員は、「地域の方の暮らしを支える企業として、少しでも便利に使ってもらえたら嬉しい。また、町内を定期的に巡回させていただくので、販売員による地域の見守り活動にも力を入れていきたい。」とあいさつしました。

11/1 (金) 茨城県介護支援専門員協会茨城町地区会 5周年記念式典を開催



茨城県介護支援専門員協会茨城町地区会の5周年記念式典が、桜の郷コミュニティセンターで開催されました。

同会の千葉正一会長は、あいさつのなかで「介護支援専門員（ケアマネジャー）をはじめ、福祉業界全体において、人員不足や処遇の問題など課題が多い。茨城町地区会が一心となり、仲間を増やせるように活動していきたい。」と抱負を述べました。また、石毛光子副町長からは、「高齢化は今後ますます進んでいく。10年、20年先を見据え、高齢者の方々がいままで住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、地域の皆様に寄り添った支援について共に考えていきたい。」とあいさつがありました。

11/6 (水) 花いっぱいのまちづくりをめざして 花苗寄贈・植栽作業



茨城ひめまライオンズクラブ（美野田龍敬会長）から社会奉仕の一環として花苗の寄贈を受け、涸沼自然公園で寄贈された花苗の植付け作業が行われました。当日は、町を花いっぱいにしようと活動するボランティア組織「茨城町ハッピーガーデン」会員や、茨城ひめまライオンズクラブメンバー、町職員ら約30人が作業に集まり、汗を流しました。

寄贈にあたって茨城ひめまライオンズクラブからは、「町やボランティアが茨城町を花でいっぱいにする計画や活動に共感した」ことから花苗の寄贈を行ったとのこと。

花壇のデザインは町ハッピーガーデン会員が行い、当日は、デザインした図面を基に、花の色や苗の高さを見ながら花壇への植栽を行いました。

10/20 (日) 第40回全国道場対抗剣道大会 いばらき少年剣友会 道場対抗(団体) 全国優勝



町内の剣道道場であるいばらき少年剣友会が、神奈川県で行われた第40回全国道場対抗剣道大会において、道場対抗（団体）優勝を果たしました。

出場選手は小学生（先鋒）から40歳以上（大将）で構成され、いばらき少年剣友会で切磋琢磨してきたメンバーが一丸となり、4度目の全国優勝を掴みました。

雨谷益水館長は、「剣友会では年齢関係なく同じ練習メニューをこなす。普段からこつこつと努力したことが実を結んだと感じた。道場はいつでも帰れる場所。彼らの居場所として、ともに成長できる場であり続けられることが嬉しい。」と喜びを語りました。

11/6 (水) 第23回全国障害者スポーツ大会出場 茨城県代表 萩谷選手・久保田選手 表敬訪問



佐賀県で行われた第23回全国障害者スポーツ大会 SAGA2024（令和6年10月26日～10月28日開催）に茨城県代表として出場した萩谷大輝さん（写真右）と久保田美希さん（写真中央）が小林宣夫町長を表敬訪問し、大会結果を報告しました。

萩谷さんは陸上競技の1500mにおいて第1位、久保田さんはフライングディスク競技のアキュラシーディスリート・ファイブで第2位、ディスタンスレディース・スタンディングで第2位の優秀な成績を収めました。

萩谷さんは同競技において、高校時代に少年の部で1位を獲得しており、2度目の全国大会1位となります。また久保田さんは、鹿児島大会に続き2年連続のメダル獲得を果たしました。二人は「これからも練習を続け、また全国大会優勝を目指して頑張りたい。」と今後の抱負を語りました。